

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-89928

⑤ Int. Cl.⁵A 47 B 3/00
13/00
F 16 B 12/52

識別記号

Z 8608-3B
Z 8608-3B
B 8613-3J

庁内整理番号

⑬ 公開 平成2年(1990)7月17日

審査請求 有 請求項の数 5 (全2頁)

⑭ 考案の名称 テーブルの脚体

⑯ 実 願 昭63-168465

⑰ 出 願 昭63(1988)12月28日

⑱ 考 案 者 小 熊 誠 次 埼玉県蕨市中央1-17-30

⑲ 出 願 人 株式会社岡村製作所 神奈川県横浜市西区北幸2丁目7番18号

⑳ 代 理 人 弁理士 竹 沢 荘 一

㉑ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 管状をなす水平杆の端部の上下両面に穿設した挿入孔に、上下両端が水平杆に係合しうる連結金具を、挿入して係合させ、この連結金具と、脚杆の上端に取付けた上面開口する連結箱の側面とを、ボルトをもつて連結してなるテーブルの脚体。
- (2) 連結金具と連結箱とを連結するボルトを、外下方へ向かつて傾斜させてなる請求項(1)記載のテーブルの脚体。
- (3) 連結金具が、係合用上片と下片とを垂直片で連結したものである請求項(1)または(2)記載のテーブルの脚体。
- (4) 水平杆の中央に長手方向の凹溝が付設され、この凹溝の端部に、連結金具の下片と垂直片を挿入しうる挿通孔を設けてなる請求項(3)記載のテーブルの脚体。
- (5) 天板の下面要所に、連結金具の上片が挿入し

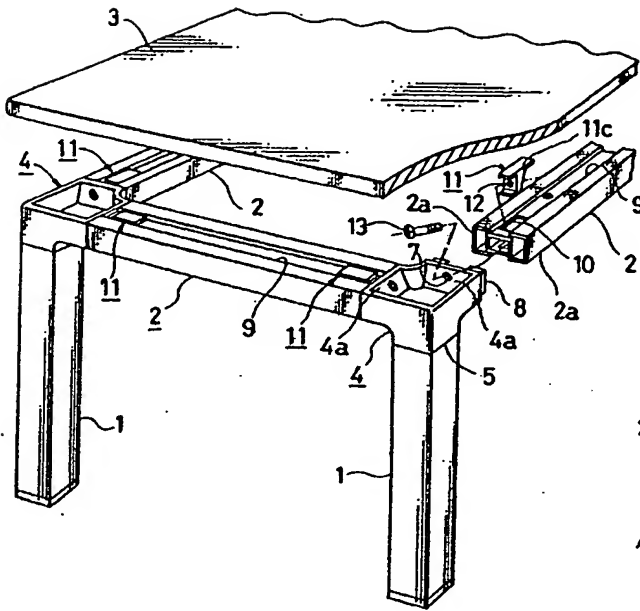
うる凹入孔を設けてなる請求項(3)記載のテーブルの脚体。

図面の簡単な説明

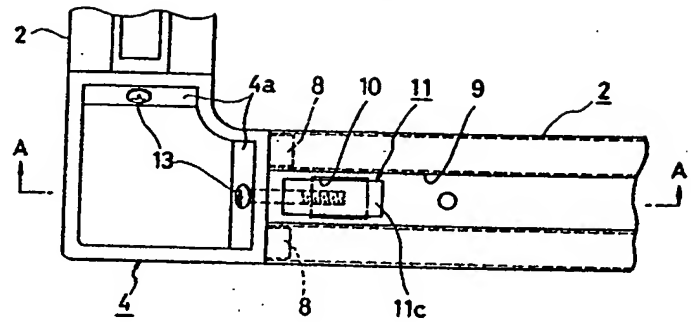
第1図は、本考案の脚体を備えるテーブルの要部分解斜視図、第2図は、天板を取り外して示す本考案の脚体の平面図、第3図は、第2図のA-A線における縦断面図、第4図は、本考案の変形例を示す第3図に相当する図、第5図は、本考案の他の使用例を示す分解斜視図である。

1……脚杆、2……水平杆、2a……角筒、3……天板、4……連結箱、4a……側片、5……垂下突起、6……ボルト、7……通孔、8……外向突起、9……凹入溝、10……挿通孔、11……連結金具、11a……垂直片、11b……下片、11c……上片、12……ねじ孔、13……ボルト、21……水平杆、22……凹入孔、31……連結箱、31a……側片。

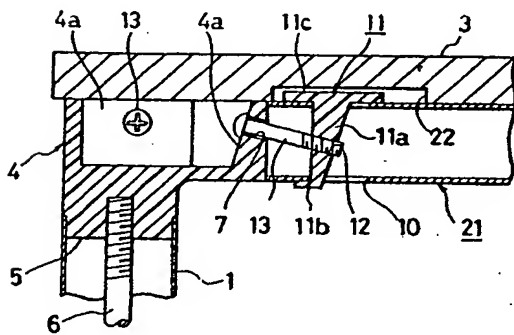
第1図



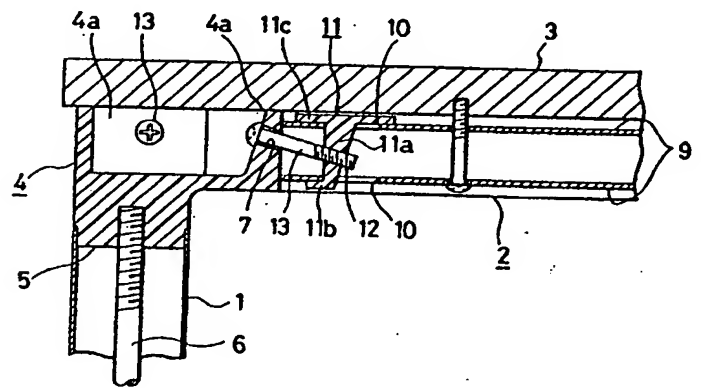
第2図



第4図



第3図



第5図

